

平成 2 7 年度 富士見小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

心豊かで健やかな体を持ち，創造性豊かに自ら学び自ら考え，主体的に判断し行動し，よりよい社会の発展を目指して，たくましく生きる児童の育成を目指す。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

- 心豊かで，思いやりのある子ども（心豊かな子）
- よく学び，工夫する子ども（よく学ぶ子）
- 健康で，たくましい子ども（たくましい子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

子ども一人一人のよさや強みを探し，見つけ，つくり，それをほめて伸ばす指導の充実により，児童の多様な個性・能力を伸ばし，互いの良さを生かしながら，支え合い高め合える集団を形成して，すべての児童が自信と誇りの持てる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的に学習に取り組む態度の育成
- (2) 他者への思いやり，規範意識，自己有用感の育成
- (3) 体力の向上と健康の保持増進
- (4) 教職員の資質能力の向上
- (5) 開かれた学校づくりの推進

宮の原地域学校園教育ビジョン

「心豊かで輝く子どもの育成」

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

児童一人一人のよさや強みをほめて伸ばす指導の充実

【学 習 指 導】

- 主体的に学習に取り組み，生き生きと学び合う児童の育成

【児 童 生 徒 指 導】

- 基本的な生活習慣の確立と自己有用感の育成

【健康（保険安全・食育）・体力】

- 健康・体力の向上と運動に親しむ態度の育成

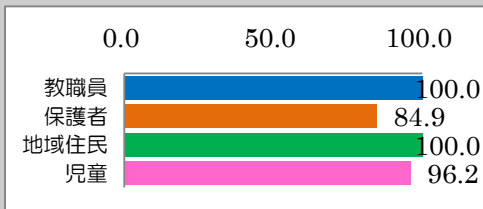
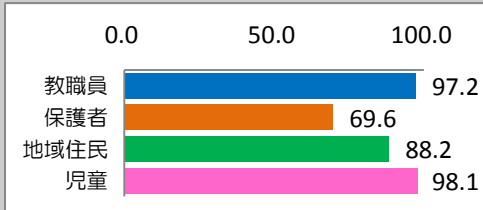
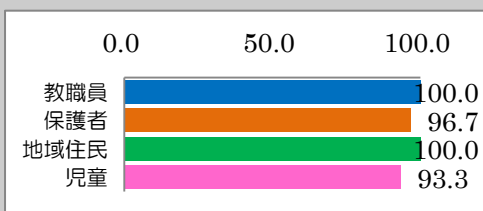
5 自己評価（評価項目の A は市共通，B は学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

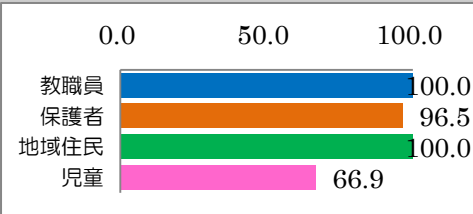
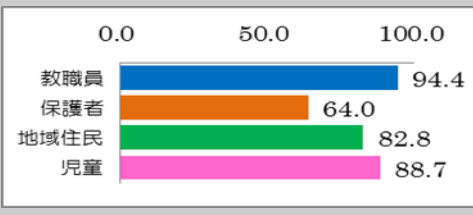
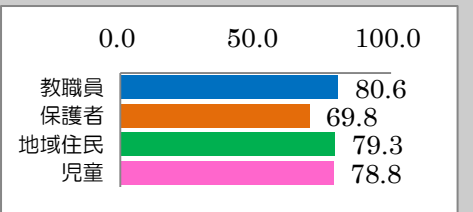
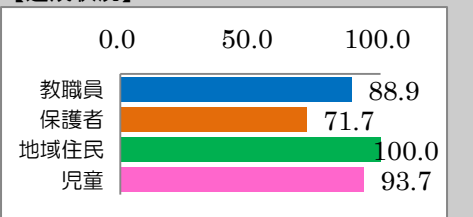
※「主な具体的な取組」の方向性には，A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
----	------	----------	-----	----

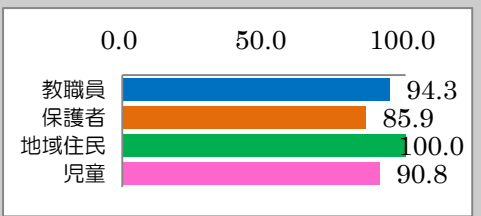
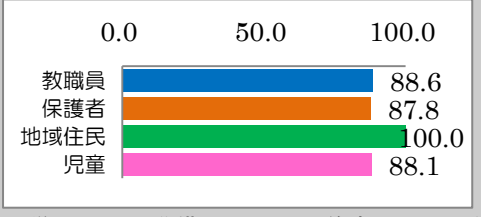
学校運営の状況	A 1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」⇒肯定的回答 90%以上 (全体) 達成	①学校行事等において、児童が主体的に活動する場を多く設定し、活気あふれる学校づくりをする。 ②授業では、学習意欲を高める多様な体験的学習の工夫をする。 ③縦割り班活動や学年合同活動等、及び日常的な交流活動を実施し、児童が意欲をもって活動できる場を設定する。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3">100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3">94.2</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3">100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3">94.3</td></tr></table> ・運動会や修学旅行、遠足等の学校行事で児童の主体的な活動が見られた。 ・チャレンジランキング等の縦割り班活動を児童は楽しみにしている。活動に意欲的に取り組んでいた。 【次年度の方針】 ・なかよし集会は、次年度も継続して取り組む。		0.0	50.0	100.0	教職員	100.0			保護者	94.2			地域住民	100.0			児童	94.3		
		0.0	50.0	100.0																			
	教職員	100.0																					
保護者	94.2																						
地域住民	100.0																						
児童	94.3																						
A 2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている」⇒肯定的回答 90%以上 (保護者) 達成	①<u>それぞれの子どものよさを認め励まし、指導すべきことはしっかり指導する。</u> ②教育相談や個人懇談等を計画的に実施し、個に応じた支援に努める。 ③他学級との授業交換や学年合同活動を行い、広く児童理解・学業指導に努め、児童が教師及び児童相互の信頼関係を深めながら、学校生活が送れるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3">100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3">94.2</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3">100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3">94.3</td></tr></table> ・ほめて伸ばす指導を、教職員が共通理解し、実践してきたことで、児童に自信とゆとりが生まれ、学校全体に落ち着きが見られるようになった。 【次年度の方針】 ・ほめて伸ばす指導を軸に、児童のよさや指導経過等を、学年または学校全体で共有し、継続的に指導にあたる。		0.0	50.0	100.0	教職員	100.0			保護者	94.2			地域住民	100.0			児童	94.3			
	0.0	50.0	100.0																				
教職員	100.0																						
保護者	94.2																						
地域住民	100.0																						
児童	94.3																						
A 3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている」⇒肯定的回答 80%以上 (教職員) 達成	①「みんなのやくそく」による日常指導の充実と教師による生活当番活動を実施すると共に、保護者との連携・協力を図り、支援体制を充実させ、個に応じたきめ細やかな対応を心掛ける。 ②<u>道徳教育の充実を図り、全校での道徳の公開授業を実施する。</u>	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3">88.9</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3">89.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3">100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3">82.1</td></tr></table> ・ルール、マナーに反した行動をとる児童への素早く継続した対応や個に応じた対応ができた。 ・道徳の授業公開を行った。 【次年度の方針】 ・「みんなのやくそく」の見直しを行う。		0.0	50.0	100.0	教職員	88.9			保護者	89.5			地域住民	100.0			児童	82.1			
	0.0	50.0	100.0																				
教職員	88.9																						
保護者	89.5																						
地域住民	100.0																						
児童	82.1																						

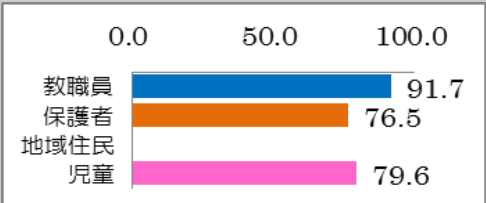
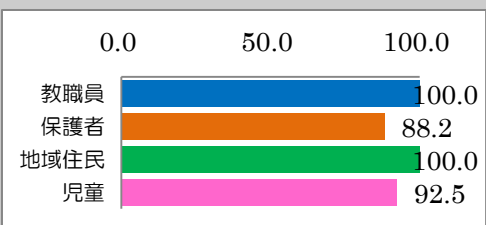
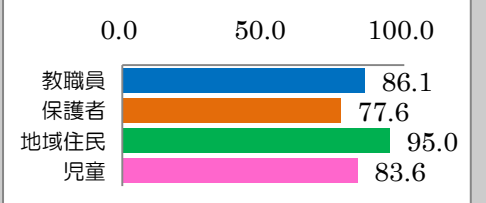
A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）未達成	①教材開発・課題提示の工夫など、一人一人の実態に応じた指導により分かる授業を行う。 ②4年生以上の国語・算数でT Tや少人数指導など、学習形態の工夫を図り、個に応じた指導を行う。 ③教員の指導力の向上を目指し、一人一授業と授業後の研究会を実施する。 ④学力向上プロジェクトを実施し、研修や授業実践を通し指導力の向上を図る。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>84.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td>96.2</td></tr></table> ・学年の実態に応じて学習形態（少人数指導・T・Tなど）を工夫し、個に応じた授業の実践に努め、きめ細かな指導ができた。 ・配慮を要する児童については、個別に指導するかがやきルーム等の活用により学習意欲の向上につながった。 【次年度の方針】 ・個・学級・学年の実態を把握し、より良い学習形態を工夫（少人数指導・T Tなど）することで、きめ細かな指導を目指す。	対象者	達成率 (%)	教職員	100.0	保護者	84.9	地域住民	100.0	児童	96.2
対象者	達成率 (%)											
教職員	100.0											
保護者	84.9											
地域住民	100.0											
児童	96.2											
A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している」⇒肯定的回答 90%以上（児童）達成	①教職員の協力のもと、いじめのない学級経営に努める楽しい学校生活を送るためのアンケートやいじめアンケート・教育相談の実施により、いじめのない学級づくり、早期発見・早期対応に努める。 ②いじめ等対策委員会を設置し、組織的に対応し早期解決を図るとともに、定期的な児童指導報告等を通し学年・学級の実態を把握し、いじめの起こらない環境づくりに努める。 ③「いじめゼロ強調月間」における取組や「宮っ子心の教育」に係る児童会主体の活動のさらなる充実を図る。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>97.2</td></tr><tr><td>保護者</td><td>69.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>88.2</td></tr><tr><td>児童</td><td>98.1</td></tr></table> ・いじめに関する様々な取組を行い、未然防止に努めた。日頃の指導の成果が表れている。 【次年度の方針】 ・職員間で共通理解を図り、学校全体でいじめ対策に取り組む。	対象者	達成率 (%)	教職員	97.2	保護者	69.6	地域住民	88.2	児童	98.1
対象者	達成率 (%)											
教職員	97.2											
保護者	69.6											
地域住民	88.2											
児童	98.1											
A 6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている 【数値指標】全体アンケート「日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている」⇒肯定的回答 90%以上（保護者）達成	①学習状況調査やアンケート等の児童の実態から、各教科・各種年間計画を見直し、自校化を図る。 ②学校評価・学校行事アンケート等により、児童や保護者の願いを生かした、よりよい学校行事・学年行事・学習活動を実施する。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>96.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td>93.3</td></tr></table> ・学校行事や研修等に合わせ、普通、特別、特・特日課の3種類で対応してきた。 ・土曜授業日の愛校の日・奉仕作業、クリーン作戦などの新しい行事は、良い評価が得られた。 【次年度の方針】 ・来年度も今年度と同じ日課表や愛校の日・奉仕作業、クリーン作戦など学校行事を継続する。	対象者	達成率 (%)	教職員	100.0	保護者	96.7	地域住民	100.0	児童	93.3
対象者	達成率 (%)											
教職員	100.0											
保護者	96.7											
地域住民	100.0											
児童	93.3											

A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。 【数値指標】全体アンケート「学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが推進されている」⇒肯定的回答 9 0 %以上（保護者）達成	①オープンスクール・土曜授業・ゆうゆうコンサートなど機会をとらえて、保護者や地域の方に学校を公開する。 ②各種便りを定期的に発行し、それをHPで公開する。 ③PTA 運営委員会や地域協議会において、学校の取組を説明したり、意見交換したりして、学校の現状や課題について共通理解をもち改善策を考え実践していく。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> 100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> 92.4</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> 92.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"></td></tr></table> ・今年度は、学年だよりや学校だより、HPなどで、多くの情報を発信できた。保護者、地域住民からの評価が良い。 【次年度の方針】 ・学校・学年だより、HPの更新など来年度も継続する。		0.0	50.0	100.0	教職員	100.0			保護者	92.4			地域住民	92.0			児童			
	0.0	50.0	100.0																			
教職員	100.0																					
保護者	92.4																					
地域住民	92.0																					
児童																						
A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。 【数値指標】全体アンケート「学校と家庭・地域・企業等との連携・協を図った地域の学校づくりが推進されている」⇒肯定的回答 9 0 %以上（保護者）達成	①地域協議会等と連携を図り、新たな地域人材の募集などを行いながら、地域探検や食農体験等地域教材や地域の人材、ボランティア等を活用した授業を計画的・継続的に実施する。 ②地域の県立博物館・中央公園・市立図書館・文化会館・宇都宮城等の文化施設を積極的に授業に活用する。 ③企業等との連携を図った体験型学習を積極的に実施する。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> 100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> 92.0</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> 91.3</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> 93.4</td></tr></table> ・地域協議会の学校支援ボランティアコーディネーターを窓口に、各学年に必要なボランティアを募集し、活用することができた。 【次年度の方針】 ・ボランティアとの打合せの記録を累積し、次年度に活用できるようにする。		0.0	50.0	100.0	教職員	100.0			保護者	92.0			地域住民	91.3			児童	93.4		
	0.0	50.0	100.0																			
教職員	100.0																					
保護者	92.0																					
地域住民	91.3																					
児童	93.4																					
A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、学習にふさわしい環境となっている」⇒肯定的回答 8 0 %以上（教職員）達成	①縦割り班での清掃指導の充実を図ると共に、学年集会や学級活動において発達段階に合わせた清掃の仕方の指導を行う。 ②草花栽培等校内緑化や掲示コーナーの環境を計画的に整備する。 ③日常的に校内巡視を行うと共に定期的な安全点検を実施し、安全な学習環境づくりをする。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> 86.1</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> 92.6</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> 96.3</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> 87.1</td></tr></table> ・縦割り班での清掃については、初回に班の打合せの場を設け、全員が集まって各自の分担を明確にすることができた。 【次年度の方針】 ・清掃については、自覚を持って主体的に取り組めるよう、引き続き指導にあたる。 ・今年度同様、校内緑化や掲示物の整理、安全点検などを計画的に行い、校内の環境整備に努める。		0.0	50.0	100.0	教職員	86.1			保護者	92.6			地域住民	96.3			児童	87.1		
	0.0	50.0	100.0																			
教職員	86.1																					
保護者	92.6																					
地域住民	96.3																					
児童	87.1																					

教育活動の状況	B1 学校・保護者・地域が一体となって、読書活動の充実に努めている。	①2回、クラスごとに落ち着いた雰囲気朝の読書を行うとともに、週1回の図書室利用の時間の活用を工夫する。 ②図書委員や保護者・地域ボランティアによる読み聞かせを全学級、月1回実施する。 ③地域団体による素語りや読み聞かせを月1回学年ごとに実施する。 ④各学年オープンスペースに読コーナーを設置し、休み時間等に身近に読書に親しめる場所を作る	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率</th></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td>96.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td>66.9</td></tr></table> ・月に20冊を目標に読書の奨励を行い、各種読み聞かせや学習における図書資料の活用を努めた。 【次年度の方針】 ・今年度同様、朝の時間に落ち着いて読書ができるようにする。 ・朝の読み聞かせや昼のお話会などで、児童の読書への関心を高める。	対象者	達成率	教職員	100.0	保護者	96.5	地域住民	100.0	児童	66.9
	対象者	達成率											
	教職員	100.0											
	保護者	96.5											
地域住民	100.0												
児童	66.9												
A10 児童は、進んであいさつをしている。	①学級の児童・委員会児童・教職員が週3回輪番制で中央広場に立ち、あいさつ運動の充実を図る。 ②あいさつ運動の様子をたより等で周知し、家庭にも協力を呼びかける。 ③日常的に呼名に対する返事等の指導の徹底を図る。 ④宮の原地域学校園全体であいさつ運動を実施する。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率</th></tr><tr><td>教職員</td><td>94.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td>64.0</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>82.8</td></tr><tr><td>児童</td><td>88.7</td></tr></table> ・あいさつ運動の推進により、自分から進んであいさつをする児童が増えた。 ・地域学校園共同のあいさつ運動やあいさつ名人の紹介などであいさつへの関心が高まった。 【次年度の方針】 ・あいさつについての共通理解を図り、日々の指導を継続するとともに家庭でのあいさつについて保護者にも呼びかける。 ・宮の原地域学校園としてもさらに連携して、取り組む。	対象者	達成率	教職員	94.4	保護者	64.0	地域住民	82.8	児童	88.7	
対象者	達成率												
教職員	94.4												
保護者	64.0												
地域住民	82.8												
児童	88.7												
A11 児童は、正しい言葉づかいをしている。	①日常の言葉遣いや敬語の使い方等の指導を全職員共通理解のもと継続的に行う。 ②職員室の出入りの場や授業の発表等で正しい言葉づかいを指導する。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率</th></tr><tr><td>教職員</td><td>80.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>69.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>79.3</td></tr><tr><td>児童</td><td>78.8</td></tr></table> ・その場、その場（特に職員室）での指導者が正しい言葉遣いと態度を指導し、効果が見られるようになった。 【次年度の方針】 ・具体的な場所での指導が分かりやすく、身に付く要素だと思われるので、道徳や日常の学校生活における、その場その場での指導支援を行っていく。	対象者	達成率	教職員	80.6	保護者	69.8	地域住民	79.3	児童	78.8	
対象者	達成率												
教職員	80.6												
保護者	69.8												
地域住民	79.3												
児童	78.8												
B2 交通ルールを守って安全に登下校している。	①登下校指導を地域・保護者・教職員が一体となって実施する。週1回集団下校を実施する。 ②交通安全教室を警察スクールサポーター、スクールガードチーフ等の協力を得て計画的・継続的に実施したり、防犯教室を警備会社と連携したりして行い、自他の安全を守り、実践的な理解が深められるようにする。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率</th></tr><tr><td>教職員</td><td>88.9</td></tr><tr><td>保護者</td><td>71.7</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td>93.7</td></tr></table> ・交通安全教室や集団下校における一斉指導等で交通安全への意識を高めた。 【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。	対象者	達成率	教職員	88.9	保護者	71.7	地域住民	100.0	児童	93.7	
対象者	達成率												
教職員	88.9												
保護者	71.7												
地域住民	100.0												
児童	93.7												

健康・体力	B3 いじめや不登校がない明るい学級で生き生きと過ごしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、友達と仲良く助け合いながら、楽しく学校生活を送っている」 ⇒肯定的回答 90%以上 (児童) 達成	① <u>教職員の協力のもと、誰もが居場所を確保できる学級経営に努める。</u> ②縦割り班活動を充実させ、なかよし集会やチャレンジランキングなどの活動を通して異学年の交流を図る。 ③「まごころカード」の実践を通して、豊かな心を育てる小さな親切運動の推進を図る。 ④<u>楽しい学校生活を送るためのアンケートやいじめアンケート・教育相談の実施により、早期発見・早期対応に努める。</u> ⑤家庭と連携を図りながら携帯電話やメール等の指導等の情報モラル教育の強化に努める。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> 100.0</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> 94.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> 100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> 93.0</td></tr></table> ・異学年での縦割り班活動やまごころカードでの善行表彰等を行った。 【次年度の方針】 ・今年度の活動を継続して行うとともに、児童の自主的自治的な活動（あいさつボランティアによる活動等）を更に推進していく。		0.0	50.0	100.0	教職員	100.0			保護者	94.1			地域住民	100.0			児童	93.0		
		0.0	50.0	100.0																			
	教職員	100.0																					
保護者	94.1																						
地域住民	100.0																						
児童	93.0																						
A12 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、進んで運動する習慣を身に付けている」 ⇒肯定的回答率 90%以上 (児童) 未達成	①日課を工夫し、業間・昼休みの時間を確保し、外での自由遊びを奨励する。 ②ゆうゆうタイム等を活用し、遊具や運動用具の使い方を紹介し、進んで運動に取り組めるようにする。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> 94.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> 87.1</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> 100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> 89.1</td></tr></table> ・クラスの遊びの時間や自由遊びなど、業間や昼休みに積極的に外遊びを行う児童が多く見られた。 【次年度の方針】 ・学年毎にスポーツ大会を実施するなど、目標を持って運動に取り組ませ、体を動かすことへの意欲を高める。 ・職員が声掛けを行い、外での運動を促す。		0.0	50.0	100.0	教職員	94.4			保護者	87.1			地域住民	100.0			児童	89.1			
	0.0	50.0	100.0																				
教職員	94.4																						
保護者	87.1																						
地域住民	100.0																						
児童	89.1																						
A13 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。 【数値指標】全体アンケート「児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている」⇒肯定的回答率 80%以上 (保護者) 未達成	①栄養のバランスを考えた食事が実行できるように、学校栄養職員が参画した「食に関する授業」を実施したり、保護者会等で家庭の協力を要請したりする。 ②食育だよりや保健だよりの発行やお弁当の日の実施などにより、食に関する指導を充実させるとともに、保護者の食育に関する関心を高める。	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>0.0</td><td>50.0</td><td>100.0</td></tr><tr><td>教職員</td><td colspan="3"> 82.9</td></tr><tr><td>保護者</td><td colspan="3"> 74.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td colspan="3"> 92.9</td></tr><tr><td>児童</td><td colspan="3"> 80.9</td></tr></table> ・食育だより、お弁当の日に関する啓発や給食委員会の活動で食に関する意識の向上を図った。 【次年度の方針】 ・給食週間の取組の中で好き嫌いと栄養のバランスについての指導を行うとともに、食育だより等を通し、家庭への啓発を行う。		0.0	50.0	100.0	教職員	82.9			保護者	74.8			地域住民	92.9			児童	80.9			
	0.0	50.0	100.0																				
教職員	82.9																						
保護者	74.8																						
地域住民	92.9																						
児童	80.9																						

B4 <u>運動技能や体力の向上を図り、健康な体づくりをしている。</u> 【数値指標】全体アンケート「児童は、検定カードなどにより、めあてをもって運動に取り組んでいる」 ⇒肯定的回答 90%以上（教職員）達成	①<u>検定カード（水泳・縄跳び）等を活用し、目標を持って積極的に運動を実施し、体力増強への意欲を高める。</u> ②日課を工夫し、業間・昼休みの時間を確保し、外での自由遊びを奨励する。 ③<u>うつのみや元気っ子プランに基づき、全員がミニマムプランを達成できるよう体力の向上に努める。</u>	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>94.4</td></tr><tr><td>保護者</td><td>84.4</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td>88.9</td></tr></table> ・なわとびや鉄棒の検定に向けて、練習を進んで行う姿が見られた。 【次年度の方針】 ・体力テストやミニマム達成に向けて、投げる力を高めるトレーニングの場を体育館に設定し授業で活用する。 ・検定カードの頑張りを賞賛する取り組みの実施。検定上位者だけではなく、昨年度と比較して向上した児童にも、賞賛を行う。	対象者	達成率 (%)	教職員	94.4	保護者	84.4	地域住民	100.0	児童	88.9
対象者	達成率 (%)											
教職員	94.4											
保護者	84.4											
地域住民	100.0											
児童	88.9											
A14 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒肯定的回答 90%以上（教職員）達成	①一人一人が自由に発言できるような学習集団作りに努める。 ②学習活動の中で、小集団での話し合いの場を設定し、発言しやすい環境を作り、コミュニケーション力を育成する。 ③家庭と連携して、<u>家庭学習への意欲を高めたり、定着を図ったりする。</u> ④ねらいを明確に示し、課題への興味関心を高めたり、適切な学習環境を整えたりして、主体的に学習に取り組める授業づくりに努める。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>94.3</td></tr><tr><td>保護者</td><td>85.9</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td>90.8</td></tr></table> ・グループでの活動や課題・学習方法や過程等の明確な提示により、主体的に学習に取り組む児童が増えた。 【次年度の方針】 ・学習集団作りや、学習環境整備に引き続き取り組む。 ・「家庭学習のしおり」について、学級懇談や個人懇談の機会に家庭への協力を仰ぎ、連携して学習への意欲を高める。	対象者	達成率 (%)	教職員	94.3	保護者	85.9	地域住民	100.0	児童	90.8
対象者	達成率 (%)											
教職員	94.3											
保護者	85.9											
地域住民	100.0											
児童	90.8											
A15 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる」⇒肯定的回答 90%以上（教職員）未達成	① <u>基本的な学習態度の確立に努め望ましい習慣を習得できるよう繰り返し丁寧に指導する。</u> ②話の聞き方・発表の仕方等を学年に応じて指導したり、個に応じて支援したりする。	【達成状況】  <table><tr><th>対象者</th><th>達成率 (%)</th></tr><tr><td>教職員</td><td>88.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.8</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0</td></tr><tr><td>児童</td><td>88.1</td></tr></table> ・学習用具の準備やチャイム着席、発言の仕方やノート指導等に取り組んだ結果、落ち着いて学習に取り組める児童が増えた。 【次年度の方針】 ・年度当初に、学年・学校全体で基本的な学習習慣について話し合い、同じ方向で指導を徹底する。 ・発達段階に応じた「聞き方」「話し方」について、学校としての統一を図り、意識の向上を図る。	対象者	達成率 (%)	教職員	88.6	保護者	87.8	地域住民	100.0	児童	88.1
対象者	達成率 (%)											
教職員	88.6											
保護者	87.8											
地域住民	100.0											
児童	88.1											

本校の特色・課題等	B 5 自ら進んで学習に取り組む態度が身に付き、基礎学力が向上している。 【数値指標】全体アンケート「児童は、朝の学習や家庭学習に毎日熱心に取り組む、基礎学力がついている」⇒肯定的回答 80%以上（保護者）未達成	①朝の学習として、漢字や計算の繰り返し学習を週1回ずつ実施する。 ②各学年の発達段階に応じて宿題の出し方を工夫したり、「家庭学習のしおり」を家庭に配布したりして、保護者の協力を得て、家庭学習の習慣化を図る。	【達成状況】  ・朝の学習や授業始めに、漢字や計算の反復練習をする時間を確保したことで、徐々に基礎学力を身につけてきている。 ・「家庭学習のしおり」を配布し、保護者の協力を得ながら、学習習慣の定着を図ったが、個人差が見られた。 【次年度の方針】 ・朝の学習等で、漢字や計算の反復練習を行う。 ・発達段階に応じた家庭学習の量や内容について学校全体で方向性を話し合い、共通理解のもと実践する。 ・「家庭学習のしおり」を配布し、家庭学習の重要性について学級懇談会で話し、保護者の協力を求める。
	B 6 教職員は、ほめて伸ばす指導に努めている 【数値指標】全体アンケート「教員は児童のよさを見取り、ほめて伸ばす指導に努めている」⇒肯定的回答 80%以上（児童）達成	①短所を是正するのではなく、長所を伸展させるという視点に立ち、減点法ではなく加点法により、児童のよさや得意なことを見つけ、それをほめて伸ばす指導を行う。 ②「まごころカード」を活用し、児童のよさや頑張りを積極的に称賛する。 ③学校生活における児童の頑張りと活躍を認め、賞賛する表彰制度を設けたり、ホームページや新聞等を利用したりして家庭や地域に知らせる。	【達成状況】  ・まごころカードの活用や表彰などでほめる機会を設定し、児童のよさや頑張りを伝えることができた。 【次年度の方針】 ・まごころカードをさらに奨励し、紹介の場を増やす。 ・学校や学年により、HPで児童の活躍を発信する。
	B 7 児童は地域や学校のために積極的に働いている。 【数値目標】全体アンケート「「クリーン活動や愛校の日の清掃活動をととして地域や学校のために一生懸命に働くことができた」⇒肯定的回答 80%以上（児童）達成	①校外の清掃活動として、「クリーン活動」を実施する。 ②保護者とともに、愛校の日の清掃活動を実施する。	【達成状況】  ・クリーン作戦では、児童が意欲的に取り組むことができた。また、地域の方も一緒に清掃活動を行う姿も見られた。 ・愛校の日とPTA奉仕作業が一緒になり、児童、保護者の参加人数が増えた。 【次年度の方針】 ・愛校の日とPTA奉仕作業を併せて実施する。 ・クリーン作戦は、分担場所の見直しを図って実施する。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

1 教育全体の状況

- ・全体アンケートでは、指標を達成できた項目は22項目中17項目となっており、昨年度より多い。昨年度と比較して5ポイント以上上回っている項目は、教職員9項目、保護者2項目、地域9項目、児童2項目で、昨年度より5ポイント以上下回っている項目はない。
- ・市の小学校の肯定的回答と比較すると、ほぼ同様な肯定率である。
- ・アンケート全体の中で、「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である」「教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている」「日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている」「学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが推進されている」「学校と家庭・地域・企業等との連携を図った地域の学校づくりが推進されている」は、高い評価を得ていることから、学校は適正に学校を運営し、児童は楽しく学校生活を送っていると判断される。

2 学校運営の状況

- ・指標からの目標達成については、良好な結果が得られている。
- ・教育課程については適切に実施され、学校だよりや学年だより、ホームページ、教育連絡日や土曜授業などの授業公開等、保護者や地域に対する情報発信に努めており、開かれた学校づくりを目指していると評価されている。
- ・校内外の学習環境の整備については、職員の評価が25ポイント向上し、落ち着いて学習に取り組む環境が整えられたと判断される。

3 教育活動の状況

①生活

- ・「児童は進んであいさつをしている」の教職員の肯定的評価については、昨年度より40ポイントも向上し、「児童は正しい言葉づかいをしている」についても27ポイント向上している。学校をあげてのあいさつ運動の推進や時と場に応じた言葉遣いの指導等の成果と思われる。あいさつ運動の継続実施等、一層の努力を重ねていきたい。
- ・登下校の安全な歩行に関しては、児童の肯定的回答が90%以上であるが、保護者の評価は72%と低い。事故や事件の未然防止に向け、集団下校時の一斉指導や保護者・地域ボランティアによる立哨指導等を行っているが、課題も多いと考えられる。

②健康・体力

- ・「好き嫌いをなく食べる」については、食育だよりや保健だより、お弁当の日の取組、親子給食等で啓発をしているが、保護者の肯定的回答が指標をやや下回った。給食週間の取組の中で好き嫌いや栄養のバランスについての指導を行うとともに、食育だより等を通し、家庭への一層の啓発を行っていきたい。
- ・「運動」については外遊びを奨励している。児童の肯定的回答は指標をわずかに下回った。ミニマムの効果的活用やサーキットトレーニングの導入、学年ごとのスポーツ大会の実施、各種検定表の工夫や競技大会練習への参加等を通し、体力向上への取組を奨励していく。

③学習

- ・「教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」についての保護者の肯定的回答は84%ほどで指標には及ばなかったが、学年・学級の実態に応じ、少人数指導や習熟度別指導、T.Tなどを取り入れた指導体制の工夫やかがやきルームの活用等を通して、きめ細かな指導に取り組んできた。
- ・「児童は、進んで学習に取り組んでいる」についての教職員の肯定的回答は94%を超え、指標を達成している。学習環境が整い、グループでの活動や課題・学習方法等の明確な提示により、主体的に学習に取り組む児童が増えた。一方、家庭学習への取組等、今後の課題も多い。
- ・読書活動の充実については、各種読み聞かせや図書室の活用、親子読書、読書集会等の実施により、保護者の肯定的回答は96%を超え非常に良好である。児童の肯定的回答がやや低いのは月に20冊の読書目標に達していなかったためと考えられる。冊数以外にも、内容を重視した目標の設定についても検討するとともに、今後とも読書好きな児童の育成に努めたい。
- ・効果のあった取組の検証や指導力向上の取組の検討を行っていく。

本校の特色

- ・「児童は、友達と仲良く助け合いながら、楽しく学校生活を送っている」の児童の肯定的評価は93%で指標を達成している。いじめ撲滅への取組やまごころカードの奨励、縦割り班活動等により、児童の自己肯定感が高まり、充実した学校生活を

送ることができていると考えられる。

- ・児童のよさをほめ、強みを伸ばす指導については、児童の肯定的回答が 92%を超え、指標を達成した。まごころカードの奨励の他、朝会や学校便り等での紹介等でよさを伝える機会を設定してきた。今後、「児童を称賛する場」の意図的な設定を行っていきたい。
- ・今年度から実施した「学校や地域のために積極的に働く」については、保護者と一緒の愛校の日の清掃活動や、なかよし通りや博物館等の落ち葉掃きなどのクリーン作戦を通し、学校や地域への愛着を深めるとともに、人のために働くことの心地よさを感じさせることができた。今後とも継続して実施していきたい。

6 学校関係者評価

- ・平成 26 年度と 27 年度との比較において、3「授業と生活のきまりやマナーの順守」、9「学習環境の整備」、10「時と場に応じたあいさつ」、11「時と場に応じた言葉づかい」、15「落ち着いた学習」の項目で大幅な向上が見られ素晴らしい。落ち着いた学習が行われていることがうかがえる。
- ・体力増強に関しては、陸上競技大会における朝の練習などに多くの子どもが参加しており、素晴らしい。
- ・言葉づかいやあいさつについては、保護者の姿勢が反映される。下校指導等をしている日位置の人々への地感謝の気持ちを込め、あいさつの励行を推進してほしい
- ・運動会やスポーツ少年団等の活動時における校門付近での喫煙は、改善の必要がある。
- ・親の聞く態度や送迎時のあいさつなど大人は子どもの手本となりたい。
- ・ホームページ等を利用して積極的に学校からの情報発信が行われている。ホームページ以外の方法でも情報の発信を工夫してほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度は前年度と比較して、肯定的な回答の割合が向上した項目が多く、22 項目中 17 項目で指標を達成できた。
- ・次年度も学習環境を整え、分かりやすい授業の実施や一人一人へのきめ細かな指導を行い、基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身に付けるようにする。
- ・今後とも児童のよさを認め、ほめて伸ばす指導の充実に努め、児童が自信を持って学校生活を送れるようにする。
- ・あいさつや言葉づかいなどの基本的な生活習慣の育成については、日常の場に応じたあいさつや言葉づかいができるようにする。さらに、宮の原学校園の指導方針に基づき、小中で一貫した取組みを行うとともに、保護者や地域とも連携し活動の充実を図る。
- ・学校や地域のために働く等の活動の充実を図り、人の役に立つことの喜びを感じられるようにする。